

県指定文化財<史跡>

け さ お た か つ か こ ふ ん
袈裟尾高塚古墳

指定日 昭和50年7月31日

所在地 菊池市袈裟尾



菊池市の西北部、迫間川中流の右岸の標高138mの丘陵地にある。墳丘は径24.5m、高さ4.7mの円墳であり、菊池市で唯一の装飾古墳である。内部は南南西の方向に羨門せimonを持つ横穴式石室で、前室と玄室に分かれており、全長は約7.22mとなっている。凝灰岩の巨石を壁石とし、その上に切り石を積み上げて天井石を乗せている。

玄室の左右に屍床ししゅう、奥には石屋形いしやかたがある。その奥壁に線刻で「鞆ゆぎ(矢筒のこと)」を2つと三角文を配した装飾がある。また玄門や側壁に赤・白色の顔料による彩色が残存する部分が認められる。玄門の楣石まぐさいしの上面にも鞆の浮彫りが発見された。副葬品として翡翠勾玉ひすいまたま、硝子玉、金環などの装身具や刀子とうす、鉄鏃てつぞく、轡くわや須恵器が出土している。

本古墳は昭和53～55年度にかけて調査・保存修理が実施された。本古墳の西方約100mに、積み石石室を持つ古墳(陪塚)がある。

